

【第3号議案】

2014（平成26）年度事業計画

日本鑄造工学会は、2012（平成24）年度に創立80周年を迎えた。これを機に、定款第3条（目的）「鑄造工学に係る学術及び技術の振興を図り、日本及び世界のものづくり基盤産業の発展に寄与し、社会の豊かな生活を実現することを目的とする」に合致した公益事業をこれまで以上に活発に展開するべく、平成21（2009）年度に策定した長期ビジョンを振り返り、更なる飛躍を目指して第2期長期ビジョンの策定作業を開始した。策定途上の2013年度から、第2期長期ビジョンで計画するロードマップの方策をより確かなものにするべく新しい活動を開始してきた。

2014年度はこの第2期長期ビジョンに基づいた活動を積極的に展開し、新しい姿への飛躍の年とする。

公益事業としては、公1：鑄造工学に関する学術講演会、講習会等の開催事業、公2：鑄造工学に関する調査研究事業、公3：鑄造工学に関する表彰及び奨励事業、公4：鑄造工学に関する広報誌等発行による普及啓発事業、そのほか、他1：会員に頒布する図書発行事業の5つの区分にしたがって従来以上の活動を計画推進する。

今年度において実施を計画している事業は以下のとおりである。

1. 学術講演会、講習会等の開催事業（公1）

国内の鑄造業界においては、さまざまな課題が山積している。伝統的な鑄造技術を受け継ぎ、さらにそれらを後世まで残していけるような息の長い人材の育成、さらに海外との競争力強化、経営基盤の強化、環境対策、さらに鑄造産業自体を広く国民に理解していただく努力も必要である。今後は一つの企業だけでなく、業界全体でこれらの課題に取り組み、日本全体の利益に寄与していくことが重要となっていく。

活動としては、全国講演大会を春季と秋季の2回開催し、今まで未発表の研究成果を発表し、討論を行う。同時に技術講習会、シンポジウム、若手鑄造技術者を中心とするYFE大会、さらに現場技術者の「現場目線での発表会場」を追加し、現場技術改善事例やQCサークル活動報告などを行う計画である。また鑄造関連工場の見学会、鑄造関連商品やその技術に関する展示会などの諸行事も同時に開催し、一般市民や会員にとっての交流の場をつくる。特別講演や招待講演として、韓国、中国などの鑄造工学会との交流講演や国内要人の講演を計画している。これから将来を担っていただく方々を対象に、鑄物や鑄造技術を身近に感じることができる「こども鑄物教室」、「いもの体験教室」や工場見学会により、鑄造産業自体を広く国民に理解していただく機会を設け、鑄造工学や鑄物製品に初めて触れ、それを端緒にして、鑄造技術を受け継いでいく人材の育成を図ることに寄与する。また、高校生を対象に、昨年度北海道支部で3回開催した「理系応援プロジェクト」を他支部に拡大して開催する予定である。これらに加え、地域に密着し時宜を得たテーマを選び、講演会、講習会を実施していく。その他、関連団体との共催による講演会、講習会、研修会の開催を行う。

今年度からの特記事項として、日本鑄造工学会は2016年5月に名古屋市で第72回世界鑄造会議（WFC2016）を開催することが決定している。日本での開催は1990年の大阪市での開催に次いで今回で3回目になるが、今年はこの大会の開催に向け、本格的な準備活動を開始する。開催にあたり、すでに経済産業省他、関連する学協会のご後援も頂いており、開催資金収集のため募金委員会を組織化し、幅広く募金活動（協賛広告の掲載を含む）を開始する。

（1）講演大会

① 第164回全国講演大会

開催日 2014（平成26）年5月30日～6月2日

場 所 京都勧業館「みやこめっせ」（京都市左京区）

行 事 a. 研究発表講演会

b. オーガナイズドセッション「軽合金」「現場技術改善事例」

- c . 日中韓交流講演
- d . 特別講演
- e . 第2期長期ビジョン展開
- f . YFE (若手鑄造技術者)大会
- g . 研究室・研究施設紹介パネル展示会
- h . 工場見学会
- i . 懇親交流会
- j . 技術展示会

②第165回全国講演大会(一般社団法人日本鑄造協会との合同開催)

- 開催日 2014(平成26)年10月17日~21日
 場所 北九州国際会議場(北九州市小倉北区)
 行事 a . 研究発表講演会
 b . オーガナイズドセッション
 c . 特別講演
 d . こども鑄物教室
 e . 工場見学会
 f . 懇親交流会
 g . 技術展示会

③講演会

- a . 論文賞受賞記念講演を春季全国大会時に開催する .
- b . 日下賞受賞記念講演を春季全国大会時に開催する .
- c . 技術賞, 豊田賞受賞記念講演を秋季全国大会時に開催する .
- d . 日中韓交流講演を開催する .
- e . 文部科学省科学技術賞受賞講演を春季全国講演大会時に開催する .
- f . 北海道支部講演大会(4月18日 札幌市)
- g . 東北支部 支部大会 第44回福島大会 4月23日~24日
- h . 加山記念講演会(関東支部 4月14日 東京)
- i . 講演会(北陸支部 4月 富山県)
- j . 講演会(一社)日本鑄造協会北陸支部との共催(北陸支部 石川県)
- k . 特別講演会(東海支部 4月 名古屋市)
- l . 若手討論会(東海支部 6月 愛知県, 9月 三重県, 11月 静岡県)
- m . 特別講演会(懇談会)(東海支部 7月 名古屋市)
- n . 技術講演会(東海支部 9月 長野県, 11月 岐阜県, 2月 静岡県)
- o . 名工大特別講義(東海支部 10月 名古屋市)
- p . 豊橋技科大特別講義(東海支部 11月 豊橋市)
- q . 各部会講演会(東海支部 全4回)
- r . 講演大会(関西支部 2回:春・秋)
- s . 鑄造技術講演会(中国・四国支部 4月, 12月)
- t . 地方講演会(中国・四国支部 11月~2月)
- u . 第67回講演大会(九州支部 4月)
- v . 現場技術発表会(東海支部 9月, 11月)

(2) 技術講習会

- ①「最新の砂型技術」2014(平成26)年5月30日(京都市勤業館)
- ②「(テーマ未定)」8月開催予定(本部 行事企画委員会主催)
- ③学生鑄物コンテストのプレ開催(本部 行事企画委員会主催)
- ④「(仮)3次元造型技術の進展」2014(平成26)年10月17日(北九州国際会議場)
- ⑤技術講習会(2014年11月中旬 石川県)
- ⑥第11回夏期・鑄造技術講座(東北支部 9月上旬)
- ⑦基礎講座(鑄鉄)(東海支部 9月 刈谷市)
- ⑧非鉄専門講座(ダイカスト)(東海支部 11月 刈谷市)

- ⑨非鉄専門講座（アルミニウム鋳物）（東海支部 12月 愛知県）
- ⑩講習会（鋳造セミナー）（関西支部 1回）
- ⑪鋳造技術講習会（中国・四国支部 12月）
- ⑫中級講座（鋳鉄）（東海支部 2014年12月 愛知県）

(3) シンポジウム

- ①研究部会の成果を報告するシンポジウムを2回開催する。

(4) YFE大会

- ①YFE大会（春季全国講演大会時 5月 京都市）
- ②東北支部第22回YFE大会（11月 秋田県）
- ③YFE発表大会（関西支部 12月 学生，若手研究者・技術者による発表大会）
- ④YFE懇話会（東海支部 4回/年）

(5) 工場見学会

- ①工場見学会（勉強会共催 関東支部）
- ②工場見学会（北陸支部 未定）
- ③工場見学会（東海支部 11月 岐阜県，2015年2月 静岡県）
- ④YFEによる会社見学会（関西支部 未定）

(6) こども鋳物教室

「鋳物の日」共通企画実施（本部YFE委員会）

- ①こども鋳物教室の開催（東海支部）
- ②鋳物体験教室（こども鋳物教室）の開催（関東支部）
- ③こども鋳物教室（北陸支部 8月福井県）
- ④こども鋳物教室（YFE社会貢献事業）（中国・四国支部 10～11月）

(7) 海外交流講演会

日中韓交流講演の開催（5月31日 京都市）

- (8) 鋳造カレッジの開催（一般社団法人日本鋳造協会に協力）（関東，東海，中国・四国の3地区で開催 6月開講）
- (9) 鋳造カレッジ上級コース（トライアル）の開催 7月開講（一般社団法人日本鋳造協会に協力）
- (10)（一財）素形材センターとの共催による研修講座，技術セミナーの開催

2. 鋳造工学に関する調査研究事業（公2）

鋳造工学に関する各技術分野の専門家による，鋳造工学に関する研究，調査，技術交流事業を行う。下記の研究部会の研究成果，それに基づく研究報告書に関するシンポジウム等を開催し，その研究成果を公開する。調査研究の結果を実際の実務，業務に生かすため，鋳造に関する工場見学会を行うなど，現場での技術交流を深める。研究活動の成果は研究報告書として発行し，その有効活用に努める。広く鋳造工学に関する情報や資料の収集を行い，その技術的な研究を発表することで日本の経済，ものづくりの発展に寄与する。

- (1) 研究部会活動の推進と研究報告書，レビュー記事などの発表を行う（2回）
- (2) シンポジウムの開催による研究部会成果の公開を行う（2回）
- (3) 全国講演大会時にオーガナイズドセッションを開催し，部会活動の成果を報告する。（春季大会時）
- (4) 技術研究会（3つのテーマ）を適宜開催する。（北海道支部）
- (5) 企画技術委員会を開催する。（北海道支部）
- (6) 鋳造技術部会（第89回 7月下旬 宮城県，第90回 1月下旬 青森県，東北支部）
- (7) 現場鋳造技術研究会（企画委員会 1回，研究会 3回 関東支部）
- (8) 研究発表会（YFEと共催 2015年3月 富山県 北陸支部）
- (9) 関西鋳造懇話会（関西支部 3回）
- (10) 消失模型研究会（関西支部 4回）
- (11) 支部研究発表会（中国・四国支部 12月）
- (12) YFE鋳造技術研究会（中国・四国支部 鋳造技術研究会 1回，YFE「いいもの」研

- 究部会 2～3回，鑄物教室 1回)
- (13)九州鑄物研究会(九州支部 3回)
- (14)YFE研究会・勉強会(九州支部 1回)
- (15)研究部会(東海支部 4回/年)

3.表彰及び奨励事業(公3)

将来の鑄造産業及び日本の製造業の発展のため，優れた業績を挙げた会員や一般市民には日本鑄造工学会大賞をはじめ10種類の表彰を行う．2012年度から開始した，優れた鑄物の製造や開発に対するキャストिंगスオブザイヤー賞をさらに充実させる．その他，学術講演会では研究成果を発表した学生の優秀講演に対する表彰の実施，鑄造関連企業に就職した大学等の卒業生には奨励賞制度を設けている．また，寄附金をもとに設定した基金から，若手研究者の研究助成，海外等での発表に対する活動支援，新東工業鑄造技術研究助成の制度により研究や活動を支援する．

地域に密着した表彰及び奨励制度により，支部において選考された方々の表彰，奨励を行う．

(1)表彰

a.本部関係

日本鑄造工学会大賞(1件)，優秀論文賞(1件)，論文賞(3件)，クボタ賞(1件)，飯高賞(2件)，功労賞(7件)，技術賞(4件)，網谷賞(3件)，豊田賞(1件)，日下賞(3件)，キャストिंगスオブザイヤー賞(2件)の授与

b.支部関係

- | | |
|------------|---------------------------------------|
| ①北海道支部関係 | 支部貢献表彰実施 |
| ②東北支部関係 | 大平賞，金子賞，井川賞，堀江賞の授与 |
| ③関東支部関係 | 特別功労賞，功績賞，現場技術改善賞の授与 |
| ④北陸支部関係 | 功労賞の授与 |
| ⑤東海支部関係 | 支部賞，奨励賞，堤記念賞，功労賞，特別功労賞，功績賞，技術賞，感謝状の授与 |
| ⑥関西支部関係 | 石野賞，功労賞，技術功労賞，研究奨励賞の授与 |
| ⑦中国・四国支部関係 | 片島賞，功労賞，支部奨励賞の授与 |
| ⑧九州支部関係 | 技能功労賞，技術奨励賞の授与 |

(2)奨励助成

- | | |
|------|--|
| a.本部 | 若手研究奨励助成(5名以内)，若手活動支援(2名以内)，新東工業鑄造技術研究助成(1名以内) |
| b.支部 | 東海支部 研究助成，研究部会助成の実施 |
| | 関西支部 研究奨励，研究助成，奨学の実施 |
| | 中国・四国支部 奨励の実施 |

4.鑄造工学に関する広報誌等発行による普及啓発事業(公4)

学会誌「鑄造工学」を引き続き毎月発刊する．最新の研究論文，技術論文をはじめ技術報告，解説，連載講座，現場技術改善事例，レビューの他，鑄造業界の要人のインタビュー記事やQ&Aコーナー，好評を博してきた「シリーズ 戦中戦後の鑄造技術・研究と後進へのメッセージ」の連載に引続き2014年3号から新たに「戦後高度成長期の鑄造技術・研究・経営と後進へのメッセージ」を開始した．昨年4号から開始した連載講座を今年度も継続し，また特集を2回組み，研究者，技術者及び経営者のいずれの方々にも役立つ情報を掲載する．昨年は4月以降投稿論文を無償化した，今年度は4月から論文の図表カラー化を開始する．また英文誌「Materials Transactions」の8学協会との共同発刊に協力するとともに，本学会会員の投稿を積極的に推進する．

会誌のJ-STAGE登載は，第80巻(2008年)まで完了し，今年度は第81巻を掲載する．また，支部においては地域の会員に対する魅力ある活動の一環として，地域に特徴をもった支部会報の発行を進め，普及を図る．

(1)学会誌「鑄造工学」の定期発刊

会誌「**鑄造工学**」第86巻第4号より第87巻3号までの12冊を発行する。
特集号を5月、12月に発行する、

- (2) 全国講演大会講演概要集を5月、10月に発行する。
- (3) 技術講習会テキストを5月、10月に発行する。
- (4) シンポジウムテキストを2回発行する予定である。
- (5) 研究報告書はNo.113, No.114を発行予定である。
- (6) 支部会報発刊(北海道支部 第41号 2014年4月)
- (7) 支部会報発刊(東北支部 第50号 平成27年3月)
- (8) 関西支部報(関西支部 昨年度第1号を発刊, 継続発刊を計画する)
- (9) 支部会報「こしき」37号の発行(中国・四国支部 12月)
- (10) ニュースレター12号の発行(北海道支部 2015年1月)

5. 会員等に頒布する図書発行事業(他1)

専門誌, 図書発行を行う。当事業では、鑄造研究者, 鑄造技術者向けに鑄造工学に関する専門誌を発行し, 会員はじめ鑄造関連技術者相互の利益を図る。

主に鑄造分野の特定領域について深く掘り下げた専門性の高い内容を図書としているもので, 多くの発刊が望めないものであるが, 鑄造分野においては必要不可欠な, 将来に残すべき内容をまとめて発刊する。その分野の先進の専門家が編集委員会を組織し, データの収集と編集を行う。

今年度は75周年記念に発刊し, 継続して好評である「鑄造欠陥とその対策」の英語バージョン発刊に向け, 翻訳作業を完了させる。

- (1) 研究報告書, テキストなどの発行
- (2) 「**鑄鉄溶解ハンドブック**」改訂版の発刊準備作業を開始
- (3) 既刊刊行物の改訂版発刊の検討

6. その他, 本会の目的を達成するための事業

- (1) 国内関係
 - ① 日本工学会など関連学会との協力
 - ② (一社)日本鑄造協会, (一財)素形材センターと協力して各種研修会等を開催。
 - ③ 関連する工業会, 支部との連携を強化する。
- (2) 国際関係
 - ① 2016年5月名古屋開催のWFC2016世界鑄造会議組織委員会活動の本格稼働
 - ② アジア鑄物会議への協力
 - ③ 中国鑄造学会, 韓国鑄造工学会との交流
 - ④ 来日外国学識者との交流
 - ⑤ 海外開催学会への派遣
 - ⑥ 海外技術動向調査

7. 本会の法人管理・運営に関する事業

- (1) 2014(平成26)年度定時社員総会(2014年5月31日)
その他, 各支部において支部総会を開催(4月 北海道, 東北, 関東, 北陸, 東海, 関西, 中国・四国, 九州支部)
- (2) 理事会の開催
 - a. 本部 7回開催
 - b. 支部 2~8回開催(各支部)
- (3) 各種委員会の開催(本部関係)
 - ① 企画委員会(2回開催)
 - a. 長期ビジョンで策定されたロードマップのフォローアップ。
 - b. 会員満足度向上のための諸企画について検討・立案を図る。
 - c. 会員増強に資するための非会員に対する学会知名度向上策についての検討・立案。

- d. 鑄造関連団体との連携強化策についての検討・立案。
- ②行事企画委員会（2回開催）
 - a. 大学生を対象に鑄物のコンテストの開催を計画する。（今年度はプレ開催）。
 - b. 若手・中堅技術者を対象に鑄造技術に関する講習会を開催する。
- ③編集委員会（本委員会12回，合同編集委員会2回開催）
 - a. より一層の会員サービス向上を目指して，掲載記事の拡充及び充実を図る。
 - b. 4号から掲載論文のカラー化を実施する。
 - c. 英文誌「Materials Transactions」共同刊行を推進する。
- ④国際関係委員会
 - a. WFC2016年世界鑄造会議（名古屋開催）のための準備を推進する。
 - b. WFC2014世界鑄造会議（スペイン）の運営確認と講演発表等の参加を行う。
 - c. 日本・韓国・中国鑄造学会との交流の推進を行う。
 - d. WFO技術小委員会への参画。
- ⑤研究委員会（2回開催）
 - a. 研究報告書の編集・発刊を推進する。
 - b. シンポジウムを開催する。
 - c. 研究ロードマップを推進する。
 - d. 全国講演大会時にオーガナイズドセッションを開催する。
- ⑥YFE委員会（2回開催）
 - a. 「こども鑄物教室」，「鑄物体験教室」を企画，推進する。
 - b. 若手鑄造技術者，研究者による研究発表や技術交流を図る。
 - c. YFE講演大会を開催する。
 - d. 理系学生応援プロジェクトを北海道支部以外に拡大展開する。
- ⑦財務委員会（2回開催）
 - a. 財政強化のための施策を検討，推進する。
 - b. 会計業務の監督，指導を行い，財政の健全運営を図る。
- ⑧人材育成委員会
 - a. （一社）日本鑄造協会との合同委員会により「鑄造カレッジ・中核人材育成事業」を推進する。今年度は鑄造カレッジ上級コースを開催する。
 - b. （一財）素形材センターの研修講座，技術セミナーの共催を推進する。
- ⑨広報委員会
 - a. 学会ホームページの充実を図る。
 - b. メーリングリストを活用した学会情報の定期配信を進める。
 - c. 鑄造関連のデータベースを検索できるシステムを作成する。
- ⑩長期ビジョン委員会（2回開催）
 - a. 第2期長期ビジョンの展開と推進を図る。
 - b. 長期ビジョン小委員会で新たな取組みの論議と検証を行う（6回開催）
- (4)委員会（支部関係）
 - ① 企画技術委員会（北海道）
 - ② 広報委員会（関東）支部便りを編集し，ホームページへ掲載公開する。
 - ③ 人材育成委員会（関東）3回開催 関東地区の鑄造カレッジ及び新人教育講座の開催を支援する。
 - ④ 企画委員会（北陸3回）講演会，技術講習会，工場見学会，研究発表会などの行事を企画する。
 - ⑤ 研修講座運営委員会（関西（一財）素形材センターとの共催で「鑄鉄の基礎と応用」と「銅合金鑄物の生産技術」を開催企画する，8月開催）
 - ⑥ YFE委員会（関西支部）12月に「学生・院生，若手研究者・技術者による発表大会」を開催，また会社見学会も計画する。

2014（平成26）年度本部事業計画に関する事項

1．総会に関する事項（定款第13条）

平成26（2014）年度定時社員総会は、平成26（2014）年5月31日（土）16時00分より、京都市勧業館（みやこめッセ）（京都市左京区）にて開催予定。

2．表彰・奨励に関する事項（定款第4条第4号）

1）表彰

平成26（2014）年度は、次の各賞を授与予定。

日本鑄造工学会大賞	1件	1名
論文賞	4件	20名
クボタ賞	1件	1名
飯高賞	2件	2名
功労賞	7件	7名
技術賞	4件	8名
網谷賞	3件	3グループ
豊田賞	1件	1グループ
日下賞	3件	3名
Castings of the Year賞	2件	

2）奨励・助成

- (1) 平成26（2014）年度の日本鑄造工学会新東工業鑄造技術研究助成金を1名に授与する。
- (2) 平成27（2015）年度に鑄造業関連に就職する大学等の卒業予定者で、支部からの推薦に基づき「奨励賞」を授与する。
- (3) 平成26（2014）年度の「若手研究奨励助成金」を原則5件以内に授与する。
- (4) 平成26（2014）年度の「若手活動支援金」を2名に授与する。

3．全国講演大会（定款第4条第1号）

1）第164回全国講演大会及び諸行事に関する事項

日時：平成26（2014）年5月30日（金）、31日（土）、6月1日（日）、2日（月）

場所：京都市勧業館（みやこめッセ）

京都府京都市左京区岡崎成勝寺町9-1

行事：(1) 研究発表講演会

(2) 論文賞受賞記念講演

(3) オーガナイズドセッション

「現場技術改善事例」

「軽合金鑄物・ダイカストにおける割れの現象と対策」

(4) 日中韓交流講演

(5) 特別講演「iPS細胞技術は再生医療にどう生かされるか」

京都大学教授 高橋 淳

(6) 第2期長期ビジョンの展開

(7) YFE（若手鑄造技術者・日下賞受賞記念講演を含む）大会

(8) 研究室・研究施設紹介パネル展示

(9) 工場見学会

(10) 懇親交流会

(11) 技術展示会

(12) エクスカーション

(13) 懇親ゴルフ大会

2）第165回全国講演大会及び諸行事に関する事項

（一般社団法人日本鑄造協会との合同開催）

日時：平成26（2014）年10月17日（金）～20日（月）

場所：北九州国際会議場

（福岡県北九州市小倉北区浅野3-9-30）

行事：(1) 研究発表講演会

(2) 技術賞・豊田賞受賞記念講演

(3) オーガナイズドセッション

(4) 特別講演

(5) こども鑄物教室

(6) 工場見学会

(7) 懇親交流会

(8) 技術展示会

(9) エクスカーション

4．技術講習会に関する事項（定款第4条第1号）

1）「最新の砂型技術」

日時：平成26（2014）年5月29日（金）10：00～17：00

場所：京都市勧業館（みやこめッセ）

（京都市左京区岡崎成勝寺町9-1）

2）「(仮)3次元造型技術の進展」

日時：平成26（2014）年10月17日（金）

場所：北九州国際会議場

（福岡県北九州市小倉北区浅野3-9-30）

3）「(テーマ未定)」8月開催予定 本部行事企画委員会主催 場所未定

5．シンポジウムに関する事項（定款第4条第1号）

研究部会の成果を報告するシンポジウムを2回開催する予定。

6．技術賞・豊田賞受賞記念講演会に関する事項（定款第4条第1号）

受賞記念講演は秋季開催の全国講演大会時に行う。

7．YFE活動に関する事項（定款第4条第1号）

1）第164回全国講演大会 YFE大会

日時：平成26（2014）年6月1日（日）

場所：京都市勧業館（みやこめッセ）

①鑄造技士講演

9件

②特別講演「放射光を利用したはやぶさ・はやぶ

さ2の帰還試料の分析手法の開発とその応用」

宇宙航空研究開発機構 上梶真之

- ③新東工業若手研究助成特別講演 1件
- ④日下賞受賞者講演 2件

8. 国際会議に関する事項（定款第4条第1号，5号）

- 1) WFC2014世界鋳造会議（スペイン・ビルバオ開催）に参加。
- 2) 日・中・韓交流講演 5月31日(土) 京都市勤業館（みやこめっせ）

9. 出版に関する事項（定款第4条第4号）

- 1) 定期刊行物
会誌「鋳造工学」第86巻第4号より第87巻第3号まで12冊を発行，特集号を5月，12月に発行する。
- 2) 全国講演大会講演概要集を5月及び10月の2回発行する。
- 3) 技術講習会テキスト
(1)「最新の砂型技術」を5月に発行予定。
(2)「(仮)3次元造型技術の進展」を10月に発行予定。
(3)「(題目未定)」技術講習会テキストを8月に発行予定。
- 4) シンポジウムテキスト
シンポジウムのテキストを，2件発行予定。
- 5) 研究報告書
No.113より順次発行予定。
- 6)「鉄鋳溶解ハンドブック」の改訂版発刊に向けて作業を開始する。

10. 各種委員会に関する事項（定款第5条-(6)項）

- 1) 企画委員会に関する事項
(1) 会員満足度向上に繋がる本会活動の活性化のための諸企画を立案・推進する。
(2) 第2期長期ビジョンの活動を推進する。
(3) 鋳造関連団体との連携の強化。
(4) (一財)素形材センターとの共催で「鋳造技術研修講座」を開催する。
- 2) 行事企画委員会に関する事項
(1) 学生鋳物コンテストをプレ開催し，本開催に向けた準備をする。
(2) 支部講習会等の活動行事を支援・推進する。
(3) 本部主催の講習会を開催する。
- 3) 編集委員会に関する事項（本委員会12回，合同編集委員会2回開催）
(1) より一層の会員サービス向上を目指して連載記事の拡充及び充実を図る。
(2) 英文誌“Materials Transactions”の共同刊行を推進する。

4) 国際関係委員会に関する事項

- (1) 英文誌“Materials Transactions”の共同刊行へ協力する。また，本英文誌へ本会員の研究論文が掲載されるよう支援する。
- (2) WFC2016世界鋳造会議組織委員会活動の本格稼働と募金委員会活動の開始。
- (3) WFC2014世界鋳造会議（2014年5月スペイン・ビルバオ開催）への参加と講演発表。
- (4) WFO技術小委員会への参画
- (5) 日本・韓国・中国の鋳造工学会交流を推進する。

5) 研究委員会に関する事項

- (1) 研究報告書を発行する。
- (2) シンポジウムを開催する。
- (3) 定期的な情報収集と研究ロードマップの見直しを行う。
- (4) 各部会活動の進捗をフォローする。
- (5) 全国講演大会でオーガナイズドセッションを開催する。

6) YFE委員会に関する事項

- (1)「こども鋳物教室」全国版の普及，「鋳物体験教室」の企画推進を図る。
- (2) 理系学生応援プロジェクトの全国展開に向けた活動を開始する。
- (3) 鋳造若手技術者育成ネットワーク構築，若手研究者による研究発表や技術交流の促進を図る。
- (4) YFE講演大会を開催する。

7) 財務委員会に関する事項

- (1) 財政強化のための施策を検討・推進する。
- (2) 会計業務の監督・指導を行い，財政の健全運営化を図る。
- (3) 前年度に引き続き，更なる経費削減活動を推進する。

8) 人材育成委員会に関する事項

- (1) (一社)日本鋳造協会と「鋳造カレッジ上級コース」を立ち上げる。
- (2) (一財)素形材センターの研修講座，技術セミナーの共催を推進。

9) 広報委員会に関する事項

- (1) 学会ホームページの充実と定期的更新。
- (2) メーリングリストを活用した学会情報の定期的配信。
- (3) 鋳造関係のデータベースを検索できるシステムを作成。

10) 長期ビジョン委員会に関する事項

- (1) 第2期長期ビジョンを第164回全国講演大会で開催し，新たなロードマップに従い活動を開始する。
- (2) 引続き各担当委員会と共同で，新たな活動の企画立案と検証を行う。

2014(平成26)年度支部事業計画に関する事項

1. 北海道支部

1. 支部大会
支部講演大会を2014年4月18日(金)札幌市にて開催を予定
2. 東北支部との交流会
2014年9月に札幌にて開催予定
3. 企画技術委員会
適宜開催
4. 技術研究会
鑄造技術研究会(長船主査), 鑄造技術教育研究会(戸羽主査), 非鉄鑄物の高度化技術研究会(柴田主査)を適宜開催する。
5. 支部編集委員会
支部会報第41号の発行 2014年4月末発行予定
ニューズレター12号の発行 2015年1月末発行予定
6. 支部理事会
定例支部理事会は2015年1月末または2月始めに実施。
7. 平成27年秋全国大会(北海道)開催準備

2. 東北支部

- (1) 理事会
平成26年度定例理事会
開催日:平成27年3月下旬予定
開催場所:盛岡市
- (2) 支部大会
第44回福島大会
開催日:平成26年4月23日~24日
開催場所:福島市
- (3) 鑄造技術部会
1) 第89回鑄造技術部会
開催日:平成26年7月下旬予定
開催場所:宮城県を予定
2) 第90回鑄造技術部会
開催日:平成27年1月下旬予定
開催場所:青森県を予定
- (4) 東北支部第22回YFE大会
開催日:平成26年11月上旬予定
開催場所:秋田県を予定
- (5) 第13回夏期・鑄造技術講座
開催日:平成26年9月上旬予定
開催場所:未定
- (6) 支部会報
第50号は,平成27年3月上旬発行予定

3. 関東支部

1. 幹事会・理事会

- ・理事会を5回,幹事会を5回,顧問会を1回開催する。

2. 総会

- ・平成26年度通常総会を,平成26年4月14日(月)に日立金属高輪和彊館において開催する。

3. 加山記念講演会

- ・平成26年4月14日(月)に日立金属高輪和彊館において第26回加山記念講演会を開催する。
講演題目:「非鉄合金鑄物における初期凝固組織の形成過程」
講師:埼玉大学名誉教授 加藤寛氏

4. 委員会活動

(1) 研究委員会

- ・支部講演会を2回,加山記念講演会を1回開催する。

(2) 現場鑄造技術研究会

- ・企画委員会を1回,研究会を3回開催する。

(3) YFE企画委員会

- ・工場見学会(勉強会共催)を開催する。
・鑄物体験教室(子供いもの教室)を開催する。

(4) 広報委員会

- ・これまでのコンテンツを中心に毎月記事を集めて更新する。
・会誌「鑄造工学」の現場技術改善事例の執筆依頼候補12社を選定し本部編集委員会へ推薦するとともに,各企業に執筆を依頼する。
・平成25年度支部活動をまとめて「支部便り」を編集してHPへ掲載する。
・会誌「鑄造工学」の<支部だより>の執筆:平成25年度の活動状況を「関東支部活動報告」として掲載する。
・平成26年度の活動状況について,平成27年3月頃に投稿する。

(5) 人材育成委員会

- ・委員会を3回開催する。
・日本鑄造協会主催の関東地区鑄造カレッジ及び鑄造入門講座の開催を支援する。

5. 全国講演大会

- ・第166回全国講演大会開催の準備を行なう。
・全国講演大会におけるYFE大会の開催並びにこども鑄物教室を協力・支援する。

6. WFC2016

- ・WFC2016の開催に向けた準備を行なう。

4. 北陸支部

(1) 総会(YFEと共催)

- 総会を1回(2014年4月の予定)開催し,前年度の決算報告,当該年度の予算と計画している行事の説明をするとともに,出席者から意見を募り,支部

- 運営の全般について議論し、意見集約する。
- (2) 理事会 (YFEと共催)
支部運営全般に関する議論と方針の決定のために、4回開催する。
- (3) 企画委員会 (YFEと共催)
支部講演会、支部技術講習会、支部工場見学会、支部研究発表会などの支部主催行事の具体的内容を企画するために、3回開催する。
- (4) 支部講演会 (YFEと共催)
開催日：2014年4月の予定
開催地：富山県
内 容：総会開催後に実施。
企画委員会でテーマを検討し、それに即した講師(2名程度)を招聘する。
- (5) 支部技術講習会
開催日：2014年11月中旬の予定
開催地：石川県
内 容：企画委員会でテーマを検討し、それに即した講師(2名程度)を招聘する。
- (6) 支部工場見学会
1回開催する。開催日及び見学先は、未定である。
- (7) 支部研究発表会 (YFEと共催)

- 開催日：2015年3月の予定
開催地：富山県
内 容：企画委員会でテーマを検討し、それに即した研究を行っている支部会員あるいは支部外の講師に発表していただき、支部内の研究活動の活性を図る。
- (8) YFEこども鋳物教室
開催日：2014年8月の予定
開催地：福井県の予定
内 容：工業見本市などの展示会にて出展し、鋳造技術を使った日用品作製を体験してもらい、鋳造とその関連技術の理解促進に努める。
- (9)(一社)日本鋳造協会北陸支部との共催事業
開催日：2015年3月の予定
開催地：石川県の予定
内 容：講演会と懇親会を共催する。北陸地区の企業または公的機関、北陸地区外の講師に鋳造業界のトレンド、最新研究動向、経済状況予測などをご講演いただき、北陸地区内の活性化の一助にするとともに、会員相互の情報交換の場を提供する。上記(7)を共催事業とすることも検討している。

5. 東海支部

開催年月	行 事		内容詳細
	地 区	内 容	
4月10日	名古屋	総会	1. 支部総会 2. 支部表彰式
6月	名古屋	特別講演会	1. 特別講演会
	愛知県	若手討論会	1. 若手技術者討論
7月18日	名古屋	特別講演会 (懇談会)	1. 特別講演会 2. 懇談会
9月	刈谷市	基礎講座 (鋳鉄)	1. 基礎講座
9月	長野	技術講演会	1. 技術講演 2. 研究部会報告 3. 現場技術発表
9月	三重県	若手討論会	1. 若手技術者討論
10月	名古屋	名工大特別講義	1. 特別講義
11月	静岡県	若手討論会	1. 若手技術者討論
11月	豊橋市	豊橋技科大特別講義	1. 特別講義
11月	刈谷市	非鉄専門講座	1. アルミニウムダイカスト
11月	岐阜	技術講演会	1. 技術講演 2. 研究部会報告 3. 現場技術発表
12月	岐阜	工場見学	4. 工場見学
	愛知県	非鉄専門講座	1. アルミニウム鋳物
12月	愛知県	中級講座 (鋳鉄)	1. 中級講座
平成27年2月	静岡	技術講演会	1. 技術講演 2. 研究部会報告

		工場見学	3. 現場技術発表
		総会	4. 工場見学
平成27年 4月	名古屋		1. 支部総会
			2. 支部表彰式
	名古屋	特別講演会	1. 特別講演会

研究部会, YFE懇話会 各4回/年 活動予定
 鑄鉄鑄物研究部会
 非鉄鑄物研究部会
 先端プロセス研究部会
 YFE懇話会

6. 関西支部

期間活動スローガン

会員及び賛助会員の行事参加への推進

重要課題

若手鑄造技術者の育成
 産学連携の強化

平成26年度 活動計画

(1) 通常会合

支部運営のために下記役員会および委員会を開催する。

顧問会(1回), 理事会(5回: 6月, 8月, 10月, 12月, 平成27年3月), 運営連絡会(適宜), 企画・資金・総務各担当理事会(適宜), 功労賞・技術功労賞・研究奨励賞・支部研究奨励助成金支給者・石野賞の支部表彰選考理事会(理事会開催時実施), 研究運営委員会(1回)

(2) 支部総会, 代議員会および講演大会

年2回(春・秋)講演大会を開催し, 支部会員の研究発表, 各研究会活動状況の報告, および特別講演を行う。尚, 春季支部大会には代議員会・総会を開催するとともに, 支部功労賞, 支部技術功労賞, 研究奨励賞, 石野賞, 研究奨励助成金の授与を行う。

本年度は春季支部講演大会の簡素化と秋季講演大会の活性化を行う。特に研究奨励助成金の報告場と時期を明確化(秋季実施)し且つ, 研究会参加の動機付けを行う。

(3) 公益社団法人日本鑄造工学会第164回全国講演大会開催

関西支部担当にて実施

日時 平成26年5月30日～6月2日(4日間)

会場 京都市勧業館(みやこめっせ)

メインテーマ【『鑄造文化』“伝統”と“イノベーション” in 京都】

大会内容: 技術講習会(最新の砂型技術)・研究発表講演会・通常総会・展示会・懇親会(リーガロイヤルホテル京都)・YFE大

会・エクスカーション・工場見学会・懇親ゴルフ大会

特別講演

(仮題)『iPS細胞技術は再生医療にどう生かせるか』 京都大学iPS研究所 高橋 淳教授

(4) 支部研究会

平成23年度の研究会組織改革により発足した関西鑄造懇話会を(3回)開催する。消失模型研究会は今後も支部の研究会としての特徴を出しながら(4回)開催する。各研究会は別項に示す計画に基づき活動する。支部活性化に向けた研究会のあり方を見直しする。

関西鑄造懇話会 委員長 毛利勝一氏

イ. 研究会開催回数 3回

ロ. 研究テーマ

鑄造工学に関連する基礎的な技術議論のみならず先端的な研究開発についても理解を深める。また, 支部会員相互の交流のため名刺交換交流会を開催する。

消失模型鑄造法 研究会委員長 池永 明氏

イ. 研究会開催回数 4回

(5) 講習会(鑄造セミナー)(1回)

鑄造技術に関する最近の問題点や技術の動向を取り上げ, 数名の講師による講演と討論を企画。開催時期を8月～9月として支部行事の分散化を行い, 講師及び会場確保の利便性を考慮する。

(6) 例会: 開催休止

支部行事過多及び企画カブリ防止のため開催を休止する。春季特別講演にその主旨を移行する,

(7) 広報委員会

支部ホームページの更なる拡充と, 支部および本部行事の広報活動を継続する。

支部ホームページ・アドレス:

<http://www.jfs-kansai.jp/>

日本鑄造工学会のホームページ・アドレス:

<http://www.jfs.or.jp/>

(8) 関西支部報発行プロジェクト委員会

昨年度第一号の発刊を実施。支部活動活性化の
為、継続発刊に向け推進を図る。

(9) 研修講座運営委員会

平成26年度も(一財)素形材センターと共催で、
「鋳鉄の基礎と応用」と「銅合金鋳物の生産技術」
を実施する予定。

「鋳鉄の基礎」については平成25年度同様に8月
初旬で開催を予定している。鋳鉄講座はここ数年
定着してきており、参加者も安定して確保できる
ことから、昨年とほぼ同様の講座を行う事とする
が、一昨年度素形材センター発行の「鋳鉄の生産
技術」が改訂されたため、各講師にはその内容も
加味した講座をお願いする予定。

又、「銅合金鋳物の生産技術」については東京と
関西において隔年で開催しており、平成26年度は
関東の開催となる。

(10) YFE委員会

①YFE委員会

「学生・院生、若手研究者・技術者による発表大
会」(YFE発表大会)

日時：平成26年12月

研修・勉強・研究のための活動であると同時に
に、学生、若手技術者、技能者、研究者による
ネットワーク作りの一環として行いたい。

②会社見学会(日時未定)

(11) 鋳造中核人材育成事業

目的：将来の工場長や経営幹部となる人材の育成。

平成26年度は中四国開催のため実施なし。平成
27年度開催の鋳造カレッジ及び鋳鉄・鋳鋼インタ
ーシップ開催準備を行う。

新たに鋳鉄上級コースを関西地区で2回実施。

(12) 産学連携を強化

関連する工業会と支部との連携を強化、親睦を
図るため交流会を実施する。

(13) 会員増強活動

目標達成のためのWG設置を継続

本部会員増強計画に連動して、支部会員の増強候
補企業の絞込みを行い、具体的な行動計画を立案。

鋳造技師の会合を組織化する事、技師会設ける。

また、退会対応策を計画、実行する。

(14) 他支部との交流

他支部と交流を密にして支部の活性化を図る、
そして姉妹化も計画する。

(15) その他

7. 中国四国支部

(1) 支部総会・支部表彰

1回 4月23日(於、広島市工業技術センター)

(2) 理事会

1回 4月23日(於、広島市工業技術センター)

(3) 常任理事会 4回 4月、7月、9月、1月

(4) 鋳造技術講演・講習会 2回 4月23日、12月

(5) 支部研究発表会 1回 12月

(6) YFE事業

・鋳造技術研究会 1回 7~9月

・いいもの研究部会 2~3回 5月、7月、3月

・鋳物教室 1回 10~11月

(7) 地方講演会 1回 11~2月

(8) 支部会報「こしき」37号の発行 12月

8. 九州支部

(1) 平成26年度支部総会、表彰式、第67回講演大会

1) 総会

日 時：平成26年4月4日(金)

場 所：九州工業大学 戸畑キャンパス(北九
州市戸畑区仙水町1番1号)

2) 表彰式：技能功労賞、技術奨励賞を授与する予
定。

3) 第67回講演大会：研究発表。

(2) 支部理事会、代議委員会

1) 支部理事会：3回開催する予定。

2) 支部代議委員会

日 時：平成26年4月4日(金)

場 所：九州工業大学 戸畑キャンパス(北九
州市戸畑区仙水町1番1号)

(3) 九州鋳物研究会

1) 研究会として3回開催する予定

(4) 全国講演大会準備委員会

1) 日本鋳造工学会第165回全国講演大会に向けて企
画立案。

日 時：平成26年10月17日(金)~20日(月)

17日(金)技術講習会、18日(土)~19日

(日)講演会、20日(月)工場見学

場 所：北九州国際会議場(北九州市小倉北区
浅野3 9 30)

(5) 支部YFE活動

1) YFE幹事会

2) YFE勉強会